

# ひな人形に思い出の花

## 蕨の介護老人保健施設

「3月はやっぱりひな市北町5丁目の介護老人祭だね」と言う高齢者 保健施設「グリーンビレの入居者の声を励みに、ツジ蕨」(吉田紘一施設長)で3日、ひな祭りが拡大が心配される中、蕨 開かれた。



折り紙のおひなさまたちと「ともくん」こと鈴木智格さん―蕨市北町のグリーンビレツジ蕨

## 鈴木さん折り紙 喜ばれる

80代から最高齢100歳まで約150人の入居者のために、職員たちがおひなさまを飾り、お昼はちらしずしを作った。

若い頃は戦争が敗戦後の食糧難の時代。「こんなにいるいろ入ってなかつたね」と思い出話に花が咲いた。

2階のフロアの白い壁に、折り紙のおひなさま約30体が並んだ。手のひらに乗る小さなおひなさまたちだが、桃色や白の台の上に座っている。「これが入居しているお年寄りたちに大人気です。とても喜んでいただいています」と療養部長の坂口信恵さん(54)。約90人の介護職員のトップだ。

折り紙のひな人形を作ったのは介護職員の鈴木智格(ともり)さん(30)。入居者からは「ともくん」と呼ばれている。2、3年前に鈴木さんが坂口さんに「やっついでいますか」と聞いた。坂口

さんは「せひやっつてほしい」と答え、鈴木さんが始めたのが細長い風船で犬や首飾りなどいろいろ作るバルーンアートと折り紙のおひなさまだった。

「もともと折り紙は好きだった。本を読んで独学です。この皆さんが喜んでくれると、雰囲気活気つく。ちよつとずつ喜んでくれるのがうれしい」と鈴木さん。

2月の末に折り紙のおひなさまを壁に飾った。それを見た入居者の女性たちが「きれいだね。そう言えばおひなさまだったね」と自分の子どもの頃を思い出したように話した。おひなさまで入居者を元気にしたいという、鈴木さんの思いが通じた。

鈴木さんは、同じ北町生まれ。町内の市立北小学校、隣の錦町の市立第二中学校で学び、都内の高校、大学へ通い、町内のこの施設に就職した。ずっとこの街にいる。お年寄りのたちから「ずっといてほしい」と思われている。